

<p><b>科目名：母性看護学概論</b></p>	<p>必</p>	<p>1 単位</p>
<p>( Introduction to Maternity Nursing )</p>		
<p>履修年次/時期：2 年次前期 授業形態：講義・演習</p>		
<p>担当教員： 村井みどり（実務経験有） 上西由美（実務経験あり） 久保貴巳子（実務経験あり）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>リプロダクティブ・ヘルスの基礎（概念、生理、倫理、法、制度）や動向およびウイメンズヘルスに関する看護を幅広く理解し、母性とは何か考えることができる。</p> <p>DP1, 2, 3およびCP1, 2, 3, 4, 6に関連する 科目 No. KNI-220</p>	
<p>到達目標</p>	<p>①リプロダクティブ・ヘルスに関する概念を説明できる</p> <p>②生殖に関する生理を説明できる</p> <p>③リプロダクティブ・ヘルスに関する世界・日本の動向を説明できる</p> <p>④リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理について説明できる</p> <p>⑤リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援内容を説明できる</p> <p>⑥女性のライフサイクル各期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し各期の健康問題と看護を説明できる</p> <p>⑦母性看護領域において遭遇する生命倫理的問題について考え記述することができる</p> <p>⑧母性の対象理解の基盤となる概念について説明できる</p>	
<p>授業概要</p>	<p>講義：母性看護の概念及び看護の対象への看護活動の概要について学習する。また母性の特徴を身体的・心理的・社会的側面を統合し理解するとともに、母性の健康に関する諸問題とヘルスケアシステムについて学習する。母性看護を展開するための理論および看護技術を学習する。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>定期試験（70%）課題レポート（30%）</p> <p>評価に対するフィードバックは掲示で行う</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習】 1.9 時間</p> <p>【復習】 1.9 時間</p>	
<p>教科書</p>	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学概論 母性看護学①</p> <p>太田操著：ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程第3版、医歯薬出版</p>	
<p>参考書</p>	<p>1 国民衛生の動向 2021/2022 厚生労働統計協会編集</p> <p>2 鈴木せいこ：生きてるだけで百点満点、サンマーク出版</p> <p>3 新しい健康教育 理論と事例から学ぶ健康増進への道 日本健康教育士養成機構 保健同人社</p> <p>4 特集 LGBT とは 多様な性と向き合うために理解していきたいこと 保健師ジャーナル 2020 Vol176 No7 医学書院</p> <p>5 事例で学ぶケアの倫理 メディカ出版</p> <p>その他は授業の中で適宜紹介します。</p>	
<p>オフィス- 連絡先</p>	<p>村井 みどり 9：00-17：00 3号館3階研究室 m.murai@kdu.ac.jp 不在時はメールをください。</p> <p>上西 由美 9：00-17：00 3号館3階研究室 kaminishi@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください</p> <p>久保貴巳子 9：00-17：00 3号館3階研究室 k.kubo@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください</p>	